

生涯学習時代本番!!

特集

ピアノを弾き始める

「愉快で、いい奴であるために」を演奏する
の男性・菅野勇さん

を同市が全国で初めて受け
入れ、五十歳以上を対象に
した「美年のためのピアノ
講座」が始まった。一回千
...

「愉快で、いい奴であるために」を演奏する
の男性・菅野勇さん

を同市が全国で初めて受け
入れ、五十歳以上を対象に
した「美年のためのピアノ
講座」が始まった。一回千
...

半年特訓
落ちこぼれ

「愉快で、いい奴であるために」を演奏する
の男性・菅野勇さん

を同市が全国で初めて受け
入れ、五十歳以上を対象に
した「美年のためのピアノ
講座」が始まった。一回千
...

美年者のためのピアノ教室



五十歳以上の市民を対象
「ピアノを弾くことが夢
にした」ピアノを始めた
人たちのキーボード教
室は、松戸市で「昨年の秋
から始まった。市社会教育
課が企画し広報で募集した
ところ。定員をはるかに上

定員30
きょう選
う選
き抽

「愉快で、いい奴であるために」を演奏する
の男性・菅野勇さん

を同市が全国で初めて受け
入れ、五十歳以上を対象に
した「美年のためのピアノ
講座」が始まった。一回千
...

つか人前で弾きたかった

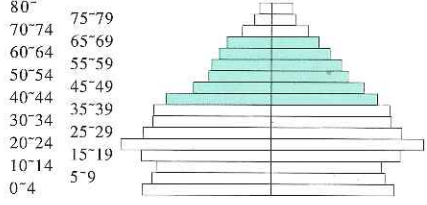
大都市が瞬間に崩壊してしまったり、猛毒ガスに通勤者が次々に倒れたり、本当に「何が起るか分からない」世の中だ。とはいえ、「分かり切っていること」もごろごろしている。

目前に迫っている21世紀の世の中を想像してみると、確実に行き当たるのが「子供の減少」「高齢者の増加」という人口構造の変化だ。これは思っている以上に急激なようだ。

そんな社会に、活力や明るさを維持しようと、現在あらゆる分野の方々が、あの手この手と対策を練っている。

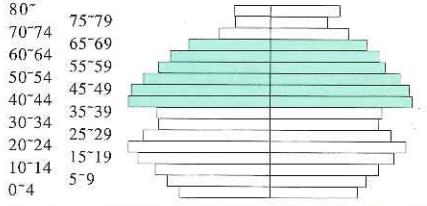
1980年

日本の人口ピラミッド(1970)



1994年

日本の人口ピラミッド(1994)



別舞台
れ更に継続

浦和ピアノを
熱心に聴き入
なく、さらに

導者協会が進めてきた企画
が、百三十五人



ピアノ演奏
夢かなう

浦和 講座終了、発表会

半年間24回の成果披露
熟年30人に喝さい

実年世代

した六カ月。緊張の連
したとこたえた。

二人もやめることな
閉講式では、川市

「実年世代」の
「実年世代」の
「実年世代」の

135人
「実年世代」の
「実年世代」の

受講生
脱着することなく
間、全十四回
を受けてきた。
しかも、吹奏
せは「浦和市民
受講で良かった
県内全域からあり、担当
が断るのに苦労したほど
師範生に縁があった
派の「実年世代」を受け
た。

この講座は、市内の五十
歳以上の男女で初心者対
象に開講し、練習の場
集前から「シン・ミラ」な
び、定員三
三十五人の
結果、抽選
一十三歳までの
脱着することなく
間、全十四回
を受けてきた。
しかも、吹奏
せは「浦和市民
受講で良かった
県内全域からあり、担当
が断るのに苦労したほど
師範生に縁があった
派の「実年世代」を受け
た。



これは音楽界、教育界でも真剣だ。
ご存じ、1992年に誕生した「実年のための
ピアノ教室」もその一つ。浦和市教育局と
ピティナの企画に、文部省生涯学習振興課
が協力する形で進められた。
これは予想以上の人気で、抽選漏れに落胆
される方が続出した。マスコミも注目を続け
る中で、各市に広がりを見せている。
しかし、公共団体ばかりにお任せでは、限
界がある。楽器等の設備や料金の面で実施出
来ない都市もあるというのに、実年世代は今
後ますます増えていくのである。
公共団体の実験事業は、きっかけ作りとし

で大成功だった。これを受け継ぐのは、まさ
にピアノ指導のプロである私たち自身なので
ある。それを社会から求められているのであ
る。私たち指導者が、もっともっと積極的に、
実年世代をピアノの世界へ迎え入れていかな
なくてはならないのだ。
音楽を楽しめる、理解できるようにと、子
供たちにピアノを教えてきた。その理念に、
使命に、実年世代への指導も代わりはないは
ずだ。年とともに生活環境は変わっていく。
人生のどの時点であれ、「何かを始めてみたい」
と思ったときに、ピアノを気軽に選んでもら
える環境作りをしていこうではないか。

先生編

実年世代へのピアノ指導って？

<初心者クラスのグループレッスンを中心に>

一先生は子供対象のピアノ指導でも数々のご実績をお持ちですが、ここにきて実年者を指導しようと思われたきっかけは何ですか。

実年指導に関してはそれほど真剣に考えていた訳ではありません。当時は暇をみてボランティア登録をしている『日本野鳥の会』という自然保護団体の研究部で、フランスの野鳥誌の論文などを翻訳していました。これが結構大変で、いつかは自分の専門分野に沿った活動に切り替えなくてはと思っていました。丁度その頃『PTNA実年音楽教室講師養成講座』のパンフレットを見て、実年教育に関する諸先輩のお話を聴きたいと思い、受講して講師登録を済ませました。今度はピアノを教えることに関しての研究ですから、全力投球しやすい分野に戻った訳です。3カ月の任期を終えた後も、受講者の熱意に動かされ、狭い我が家でグループレッスンを継続することになったのです。

一実際指導を体験して、いかがでしたか？

私が実年者を指導するとき一番嬉しく思っているのは、「師弟」という上下関係の厳しいものはなく、もっと緩やかな雰囲気、むしろ友情に近いような精神的交流が生徒との間に生まれ、お互いの心に響き合うものがあることです。これは時代を遡る感覚に近く、近所のお兄さんお姉さんや自分より少しばかり年下の子まで一緒になって、道端や野原で遊んでいた頃のような、じわっと温かい懐かしさのあるものなのです。受験生を受け持つ責任感の重圧から開放され、親の果たせなかった夢を託された練習嫌いの子達をなんとか軌道に

乗せようと苦勞することもなく、レッスンを心から楽しみに通う皆さんと接することで、音楽に触れる幸せを改めて感じます。

先日、浦和市「実年のためのピアノ教室」の発表会を聴かせていただきました。悠揚迫らぬ皆さんの演奏に沿って懐かしいメロディーの数々を心の中で歌っているうちに、いつしか心が熱くなってきて、不思議な幸せを味わいました。

一子供を指導する場合と、どのような違いがありますか？

子供も大人もピアノを同じように指導できれば、これまでの指導経験をそのまま移行でき簡単なのですが…。子供と大人の違いをよく認識し、方法を考案していく必要があります。(下表参照)

子供	大人
子供は直観的で理屈は比較的苦手。理解可能な範囲を考え工夫する必要がある	理論的に説明すると納得。更にその根拠まで説明し興味を深めることも出来る。
指の力は弱い柔軟性に富む。	指は弱い上に堅い。動かすのに苦勞する事が多い。
小学校低学年までは精神的、肉大敵に成長の度が遅いの、選曲に注意。	精神の成熟度が高いため、テンポの遅い曲であればかなり上級者向きの名曲も演奏可能
暗府が早い	暗譜は比較的苦手

一実年者をグループ指導する場合、レッスン室の広さや設備などの物理的な問題が生じることがありますが。

ピティナと各市協賛の「実年ピアノ教室」のように、公的な場所で設備を整えて行われているものは別として、一般的にはレッスン室といえば広さも楽器の数も個人指導を基準に作られているの



常に5人が参加しているこの温かい団結ぶりに、新鮮な気持ちがありました。まさに、グループレッスンの理想像ではないだろうか。

他人の演奏も自分の課題曲であるかのように、楽譜を広げて練習してみたり、先生のアドバイスに「ああ、そうか。」「どうしてこうなのかしら?」とお互いにささやき合ったり。また、先生独特のユーモアにばつと笑いが生まれ、お褒めの言葉にさつと拍手が贈られる。

←松尾先生レッスン室
(SPC通信)より

● 松尾 英美 先生

実年音楽教室実行委員会研究部

横浜市文化振興財団主催、当協会実年音楽教室実行委員会後援の「40歳からのピアノ」2クラス（初級・中級各5名）を3ヵ月後の修了演奏会まで担当された。

以来、自宅にて実年受講生のレッスンを続けられている。

で、先生それぞれにご苦労があると思います。

私の場合、5人座ると一杯になる部屋に、グランドピアノ2台という条件ですが、電子ピアノ2台を廊下にでも置いて…と考えておりました。しかし、生徒の皆さんが新しく買わなくても良いとおっしゃるのです。「いつまで続くか自信がなくて、やめるときに気が楽だから？」と勤練りもしたが、まずはレッスン方法を工夫してやってみようと思えました。

一では、具体的にどのような工夫をしていらっしゃるのですか？

レッスンの時は順番を待っている間も、常に皆一緒に演奏に参加している気持ちをもたせる必要があるので、

- ・曲中の楽語の意味を皆に問いかける
 - ・演奏者の奏する音に間違いがないかをチェックさせる
 - ・よく使われるパッセージ等練習しておく
- と役にたつ箇所があれば、本人の持ち曲でなくても全員に交代で弾かせてみる

など、演奏者でない方との連携をとるようにしています。これにより、各々の曲とその演奏を聴き合うことで多くの曲を覚え、耳の訓練にもつながるでしょう。

さらに、技術的、音楽的な指導もさることながら、グループ内の和を保つよう、指導上の心配りも大切です。出来るだけ差別をしないためにはエチュードを先に進める時も1曲仕上がったと認める時も、受講生相互のバランスを考え、かつ競争意識をある程度持たせていくことが肝要かと思われれます。

また、先生ご自身の経験と個性を活かした楽しいレッスンを心がけ、他の教室のレッスンを見学できるチャンスを作ると有効だと思います。

一これから実年者への指導に挑戦される先生に一言お願いします。

子供と実年学習者の指導法の違いを検討していくと、むしろ教える上での共通点の方に、とても大切なものが含まれていることに気が付きます。



実年を指導する喜び…

それは「ゆとり」と「友情」と共にあるのではないのでしょうか

どの世代を教えるにしてもまず留意していきたいことは、音楽を嫌いにならないよう、最大かつ細心の注意を傾けたいということ。「音楽は大好きでもピアノの練習は苦手」と思わせないように先生ご自身がゆったりしたお気持ちで臨まれた方がよいと思います。

私は実年の指導をするのも、グループレッスンをするのも初めてでしたので、横浜で講座を受け持つと決まった時は胸がドキドキ、まるで受験前みたいに緊張していました。けれども、いざレッスンを始めてみると意外に楽しくて、「大人相手はちょっと…」と迷っておられる先生には、気軽な気持ちでどうぞ、と申し上げたいくらいです。

また、実年になってピアノを弾くチャンスを得た人のように成った「夢の実現」をいつまで守り通してさしあげられるのか…。それらの人達のピアノ人生を将来にわたってますます充実したものにしていれば、教師冥利に尽きるのではないのでしょうか。

PART : 2

生徒編

ピアノにチャレンジする実年者の実像に近づいてみよう!!

ピアノ受講希望者
&
ピアノ受講者

6 2 1 人の声

平成4～6年度の掛川市、浦和市、松戸市、横浜市各公共団体主催、PTNA協力・共催の実年音楽教室受講生からのアンケート集計、および訪問取材をまとめた。

家で眠っているピアノが かわいそう...

ピアノを始めようと思った動機に、単に「ピアノが家にあったので」という方が少なくありません。受講希望者はピアノ経験は殆どないものの、ピアノの所有率は非常に高いようです。

電子系を含むピアノの所有率は92%。

2～3世帯の同居住まいで、子供や孫がピアノブームに育ち、現在は我が家に眠っているピアノが目に見えるようです。「これからやってみたい習い事」に、身近なものから選ばれている傾向があることから、このような環境にある実年世代の方が、今後のピアノ学習者予備軍でしょう。

0からのチャレンジ 「長年の夢」が今開花!

「長年の夢だった」と念願のピアノとの生活にエンジョイされている方の、子供の頃の様子と尋ねると、「戦後の義務教育の不完全さ」「都会一地方の教育水準格差」の中に置かれていた不運な過去を、切々と語ってくれました。

そのために、「義務教育程度の音楽の知識さえ身につけていない」と心配されている人もいらっしゃるのです。これは逆に音楽環境に恵まれていた同年代のピアノ指導者にとって、盲点かもしれません。

ピアノ経験

有	211名
1年未満	33名
1年位	29名
2年位	37名
3年位	19名
自己流等	39名
無	410名

ピアノ所有率

(複数回答)

グランドピアノ	27名
アップライトピアノ	433名
電子ピアノ	72名
電子オルガン	45名
無	49名

ジャンルは問わず 電子ピアノにも好奇心

好みの音楽ジャンルは、やはりクラシック音楽が強いようです。演歌や邦楽の人気よりは、家族からの影響でしょうか、ジャズやロックの浸透、シャンソンからタンゴ、詩吟に至る広範囲な音楽環境に注日したい。

よって弾きたい曲もかなりの広範囲。容易で有名なピアノ曲なら特に類を限定せず、といった具合です。

電子ピアノは、実際のレッスンでも多く使われています。鍵盤の大きさ、軽さに多少の違和感を抱きつつも、「機能を活かしたアンサンブルの講座をやりたい」等、電子楽器に前向きな感覚は、実は教師より上回っているのでは?

好きな音楽のジャンル

クラシック	493名
ジャズ/ロック	215名
歌謡曲/演歌	294名
邦楽	96名
ムードミュージック	249名
その他	151名

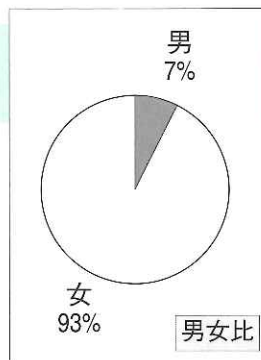
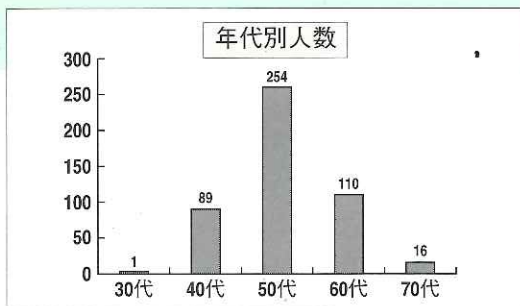
左写真:

浦和市主催実年音楽教室の卒業生を引き続き指導される。

指導者は浅見英夫正会員。

95年2月、浦和市中央公民館にて。





レッスン仲間と励まし合い 今日まで来た レッスン後のお茶も楽しみに

気軽に始めた人も、念願叶って始めた人も、続けていくことはなかなか大変なこと。差し迫った目的や強制がない分、ちょっとしたマンネリや自信喪失、プレッシャー、家庭環境等の変化が、「休もうかな」という気持ちにさせてしまいます。また、あまりにも上達を期待をしすぎると「応えられない」気持ちの負担に苦しめられるのか、「もっと気軽にやりたい」という受講生の声も聞かれました。

楽しいレッスンにも、グループレッスンでの仲間の存在がとても大きいようです。

「やめたいと思うときに、レッスン仲間と励まされ、今日までできました」

「皆と仲良くなって、レッスン後にお茶を飲みにいったりするのが楽しい。」

「自分の練習が出来ていなくてレッスンに行くのが気が重いときでも、仲間と合えると思うと出かけやすくなる。」

また、趣味や生活時間帯が異なる近所の付き合い以外に、共通の趣味の友人が出来たと喜ばれる、あるいはそれを期待している受講生は殆どです。

自分の時間ができた でも練習の時間はあまりない

練習はどのくらいされるのでしょうか？

「夢中になれる時間が快適」という声もあれば、「1人よがりの練習心配、見本のテープが欲しい」という声も聞かれます。カウントが苦手、練習で弾いてたものが、レッスンでは使いものにならない(?)こともあるとか。20～30分で飽きてしまうという声が大抵なもの、子供の場合と同様でした。



「自分の時間ができたので」といって始められた方も、実は練習時間をなかなか確保できないようです。というのも、「近所や家族に聴かれるのは恥ずかしくてイヤ!」……練習時間は家族のいないときにこっそりと、というのが大方でした。

グループレッスン 87%の支持率! 6ヵ月ではものたりない

「5人のグループレッスンで1レッスン50分」というスタイルでカリキュラムが組まれていた「浦和市実年のための音楽教室」受講生30名(1期生)に聞いたところ、「レッスンを受けて良かった」と答えた受講生は83%でした。

6ヵ月という講座期間に対し、「短すぎる」も83%。「同じ形態で続けたい」が87%と、このタイプの講座への評価の高さが伺えました。

一方、1回50分のレッスン時間に「これ以上多いと先生の目が届かないし、少ないと緊張が高すぎて疲れそう。」という意見もある反面、「短すぎる」が63%という結果でした。上達するに連れ、人数や時間の調整は今後必要になってくるようです。

募集は？ 教材は？ 講師向け研究会は？ 実年ピアノ教室開設のポイント

実年ピアノ教室を開設するにあたって

Q1. どのように生徒募集したらよいか？

各広報紙を見て応募された「実年音楽教室」受講希望者に、どんなコピーに惹かれたのだから。「初心者からの～」「中高年者のピアノ学習者増加」「ボケ防止」「～歳から始める」など。応募広告を出される際の参考に。

Q2. レッスン代はどう設定したらよいか？

個人的に、健康や家族等のことで学習環境が変わりやすい。月謝制よりも1期制（3ヵ月10回など）にした方が、受講者ともに計画が立てやすい。

Q3. グループレッスンでは、必ずしも各々の都合が合うとは限らないのでは？

グループ内の人数その他の調和がとれない場合も想定して、予め「レッスン規約」を渡し、トラブルを防ぐ工夫をすると良い。また、レッスンに対する心構えと教室への理解を深めるのに役立つ。

クラス内に休会者が出た場合、他のクラスメイトに人数割で値上げとなって跳ね返るのでは、安心して受講できないだろう。

実年学習者向けの教材とは

最近では、「大人向け」のピアノ教本、曲集がブームかのように、各社から次々と出版されている。大人用の曲集は、クラシックの名曲を簡単にアレンジしたものや、ポピュラー・なつかしのメロディーを集めたものが多いのが特徴。また、理

論的に説明すると納得する傾向がある大人のための工夫もされている。先生の指導のもとで学ぶことを前提とした教本・曲集の中から代表的なものを下に列挙した。

タイトル	出版社	概要
おとなのためのピアノ教本 1～5	ドレミ 楽譜出版社	ヤマハ池袋店では、現在一番売れているおとなのためのピアノ教本。テクニックマスター(1～5)、楽典ワーク(1～2)の併用教材がある。
おとなのためのピアノ曲集 1～3	ミュージック ランド	バイエルや単調な練習曲は絶対したくない！、最初から両手で楽しく弾きたい！という年配の方向け。
大人のやさしいピアノ・ スクール 1～2	音楽之友社	PTNA正会員の成田剛先生編著。読譜力を養うトレーニング(ソルフェージュ)付き。各曲に簡単な解説付き。
アダルトピアノ教本 1・2	音楽之友社	第2巻は、PTNA正会員の佐藤祐子先生が翻訳。最初から簡単な曲を教材にピアノの手ほどきをする。
大人のピアノ曲集 すてきなピアニスト	全音楽譜 出版社	大人の方々が弾きたいと思うような有名な曲をジャンル別に編集された曲集。『なつかしの歌謡曲編』、『ポピュラー編』、他からなる。
おとなたちの 今からピアニスト	東亜音楽社	PTNA正会員の北村智恵先生編。昔からなじみの深い曲を題材にし、初心者でも楽しく学べるよう具体的な説明も豊富。
バスティン年長者のため のピアノ入門 1～2	東音企画	正会員の浅見英夫先生が翻訳。現在PTNAの実年音楽教室で使われている教材。基礎から理論もじっくり理解しながら学びたい人向け。

実年ピアノ教室講師養成講座とは

生涯学習の一環として、PTNAと各地方公共団体とタイアップした「実年ピアノ教室」は、その受講申込の多さに、即座に希望通り対応するには、場所もピアノ講師の数が足りないことがしばしばです。さらに、受講期間が終わってから、レッスンを続けたい人達に対しての「受け皿」となる場所が見つからないのも現状です。ここにきてピアノ教師が、自宅のレッスン室でも

グループレッスンが出来る「研究」と「方法」を紹介する必要性が出てきました。そこでPTNAでは、それらの教室に派遣される講師候補者だけでなく、これから自宅で実年向けのピアノ教室を開設される方も対象とした、「講師養成講座」を全国各地で開催する予定です。下記に挙げたカリキュラムは、秋にPTNA東京本部にて開催される講座の主な内容です。

I 総論	10月16日(月) 10:00~12:00 上総治子先生
	・実年音楽教室概観 ・実年の特性 ・教材について ・実年者に対する接し方 等
II 新教育	10月26日(木) 13:00~15:00 保坂千里先生
	・実年を教えてみて ・各教室の様子 ・合奏について ・電子ピアノ類について 等
III 教材	10月30日(月) 10:00~12:00 浅見英夫先生
	J.バステイン著『年長者のためのピアノ入門』レベル1、2 ・内容の具体的解説 ・実年者の進度の目安 等
IV 応用 総括	11月13日(月) 10:00~12:00 上総治子先生/松尾英美先生
	・対談：「自宅でのグループレッスンについて」 (限られたスペースで行う方法とその工夫 等) ・SPC入会案内(サークル紹介) 等 ・講座全体に関する質疑応答 ・修了証書授与

この他同期間中に、PTNA本部内の「実年のためのモデル教室」にて
・レッスンの見学
・体験指導とアドバイスを予定しています。

(日時は未定)

また、各支部でもこれに準じた講座を企画中です。

* 詳しい情報をご希望の方は、PTNA本部実年音楽教室実行委員会事務局までお問い合わせください。

◇ おわりに…

日本は今、大変な勢いで高齢化社会に向かっているといわれています。そんな中で「人生最期の時まで、自分の生活をより豊かに生きがいを持って送っていこう」と、社会へメッセージが発せられています。しかし、これは私達指導者にも同じことがいえるのではないのでしょうか。自分たちの持てるもので、社会のため人々のために役に立てていくことは、大変有意義なことだと思うのです。

そんな願いを持って、実年音楽教室実行委員会では「講師養成講座」の企画や「シニア・ピアノ・サークル(SPC)」の発足を実現させてきました。あなたの「実年ピアノ教室」をいつでも開けるように、心の準備と同時に、実年向けの指導研究と一緒に取り組んでいきましょう。夢を追って美の世界に参加しようとする実年の仲間を迎え、新たなピアノ生活を築いていきましょう。



● 上総治子先生
実年音楽教室実行委員会
委員長